

# 「たまごのワーク」 豊中市

R6.8.9 (金)



豊中市立小曾根小学校放課後子どもクラブにおいて、45名の児童を対象に親学習(たまごのワーク)が行われました。児童は1年生~5年生までが参加していました。

## 初めての体験!

メインファシリテーターは豊中市の親学習リーダー伴野さんが務めます。まずは、親学習時の4つのルール「時間」「参加」「尊重」「守秘」を確認し、相手の話を聴くことなどのお話もありました。また、親学習を通して、自分の親への感謝、これからの自分の生き方について考え、卵を自分の子どもに見立て、命の大切さについて学びました。

## 赤ちゃんのイメージは?

まず、「赤ちゃん」で思い浮かぶことをワークシートに書き込みました。軽い、歯がない、しゃべれない、泣く、首が座っていないなど想像しながら書き込みました。その後、沐浴人形を実際に抱っこしました。児童からは「重たい!」「これは3kgくらいかな!」「頭がペコペコしてる」など、沐浴人形を通して赤ちゃんについて知る機会となりました。



### たまごに顔を描いている様子

自分の赤ちゃん(たまご)のプロフィール(名前やどんな子どもに育ててほしいか)を考え、たまごに顔を描きました。

### 心の中で語りかけている様子

目を閉じて自分の赤ちゃん(たまご)を温めながら、語りかけているうちにどんどん愛情が湧いているようでした。

## 「子どもの大切さ」

自分の赤ちゃん(たまご)への思い入れが強くなったところで、隣の人に預けなければならないというシチュエーションを設けました。預けた児童たちからは、「友達だから、安心」や「大丈夫」という感想がありました。また、預かった児童たちは「ちょっと緊張した」や「返したときはほっとした」と答えていました。

あっという間に時間は過ぎて、児童たちは「楽しかった!」「こんなにもおもしろいと思わなかった!」など親学習を楽しんだ声が多く聞かれました。

※今日の授業の感想を書いてください。  
たのしかったです。おもしろかったです。  
みんなおもしろいとおも、こもいながら  
あかちゃんをもらえてうれしかったです。  
あかちゃんうけがしなりましたよ。  
かったです。

